

貯法 室温保存

動物用医薬品

生菌製剤

獣医用宮入菌末

【成分及び分量】

1g 中 宮入菌末 40mg

【効能又は効果】

単純性下痢の予防・治療。

【用法及び用量】

<鶏>

用法：飼料 1kg 当たり均一に混和して経口投与。

用量： $2 \times 10^7 \sim 6 \times 10^7$ 個 (2~6g)

<豚>

用法：経口又は飼料に混和して投与。

用量：(1日1頭当たり)

ほ乳期子豚	$2 \times 10^7 \sim 6 \times 10^7$ 個 (2~6g)
豚	$1 \times 10^8 \sim 3 \times 10^8$ 個 (10~30g)
(予防)	飼料1kg当たり $1 \times 10^7 \sim 3 \times 10^7$ 個 (1~3g)

<馬>

用法：経口又は飼料に混和して投与。

用量：(1日1頭当たり)

育成馬	$6 \times 10^8 \sim 12 \times 10^8$ 個 (60~120g)
成馬	$1.2 \times 10^9 \sim 2 \times 10^9$ 個 (120~200g)
(予防)	飼料1kg当たり $5 \times 10^7 \sim 10 \times 10^7$ 個 (5~10g)

<牛>

用法：経口又は飼料に混和して投与。

用量：(1日1頭当たり)

ほ乳期子牛	$2 \times 10^8 \sim 6 \times 10^8$ 個 (20~60g)
育成牛	$6 \times 10^8 \sim 15 \times 10^8$ 個 (60~150g)
成牛	$1 \times 10^9 \sim 3 \times 10^9$ 個 (100~300g)
(予防)	飼料1kg当たり $5 \times 10^7 \sim 10 \times 10^7$ 個 (5~10g)

なお、症状に応じて適宜増減すること。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

(使用者に対する注意)

- 作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう注意すること。

(取扱い及び廃棄に関する注意)

- 本剤は湿気の多い場所、温度の高い場所並びに直射日光を避けて保管すること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するために、他の容器に入れ替えないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

- 本剤は、抗菌性物質との併用は避けること。
- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【包装】

50g×10包

【製品情報お問い合わせ先】

ミヤリサン製薬株式会社 お客様相談室
〒114-0016 東京都北区上中里 1-10-3 TEL：03-3917-1191

製造販売元

Miyarisan ミヤリサン製薬株式会社
長野県埴科郡坂城町中之条 102-15

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。